

1 / 19 例会スナップ





Rotary
東京池袋豊島東ロータリークラブ

2996回
第20回例会 2023.1/26

Weekly Report

Rotary Club of
Tokyo Ikebukuro Toshima-East



会長: 小泉博明 幹事: 石川宜司 RI会長: ジェニファー・E. ジョーンズ 第2580地区ガバナー: 嶋村文男

RI2022-2023年度テーマ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実か どうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるか どうか

禅語

一円相(いちえんそう)

円は、欠ける所も余す所もない完全な円満であり、始まりもなければ、終わりも無い広大な無限に続く宇宙を表します。絶対的な真理を意味します。難しく考えるのではなく、自らが円を描いてみると、円満と広がりを感じ、素直な気持ちになるのです。

本日の例会

1月26日(木) 12:30~13:30
卓話: 「写真でたどる豊島区の90年」
卓話者: 秋山 伸一氏

次回の例会

2月2日(木) 12:30~13:30
演奏者: 榎戸二幸氏 (琴・生田流)

1月19日 例会報告

司会 石塚会員
開会点鐘 小泉会長
たき火・ロータリーソング
ソングリーダー 廣内会員

☆会員総数 38名
☆出席規定適用者数 28名
★本日の出席者総数 26名
★" 免除者出席数 5名
★本日の出席率 78.78%

☆本日のゲスト
菅谷 拓氏 (入会希望者)
レン・ホーウィング君 (米山奨学生)



1 / 19 例会

ニコニコ

宮部君 先週メジャードナーの記念バッジを戴き、今日は皆出席33年の記念品を戴きました。

皆様のお蔭で何とか努めております。

小代君 小泉会長 御著書ありがとうございます。

本日の合計額：6,000円
今年度ニコニコ累計額：495,725円

会長報告

第19回（2023.1.19）

今月は、職業奉仕月間である。職業倫理と言えば、宗教改革を行ったカルヴァンが職業は神からの召命（天職）であり、職業から得られる富は正当であり、神聖なものであるとした。

ドイツの社会学者ウェーバーは『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のなかで、カルヴァンの思想が、資本主義を発展させる精神を準備したという。

日本では江戸時代に禅僧の鈴木正三が『万民徳用』で営利活動を肯定した。さらに、石田梅岩は、儒教的な価値観からは卑しいものと見なされていた町人の営利活動について、「商人の買利は士の禄に同じ」（『都鄙問答』）で論じた。商いによる利益の追求を天理にかなう正当な行為として肯定した。そして、「正直」「儉約」「勤勉」に生活し、商業活動の人々が互いに活かし合い、「先もたち、我も立つ」社会の実現に寄与するものと考えた。梅岩の教えは、石門心学として発展していった。

ロータリーの職業奉仕を考えるに、日本の職業倫理を回顧することは、極めて重要なことであろうと考える。

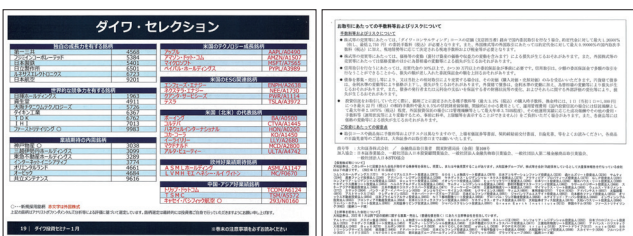
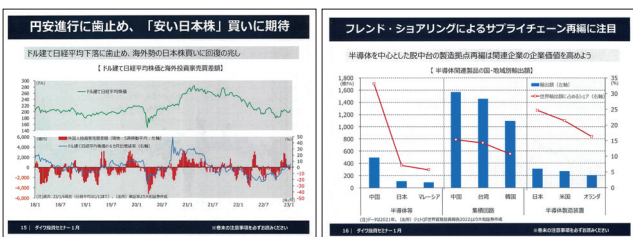
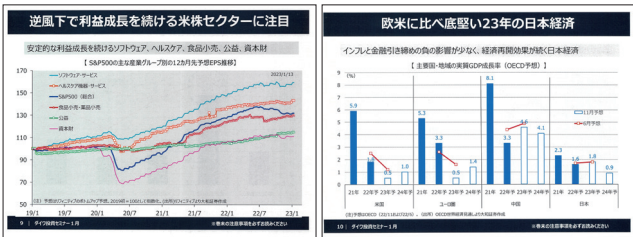
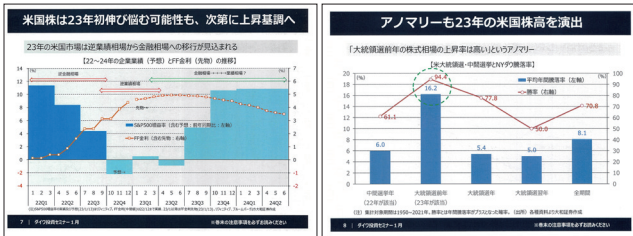
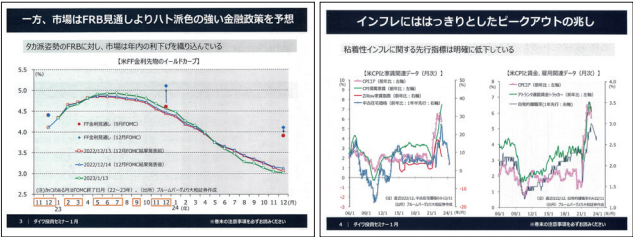
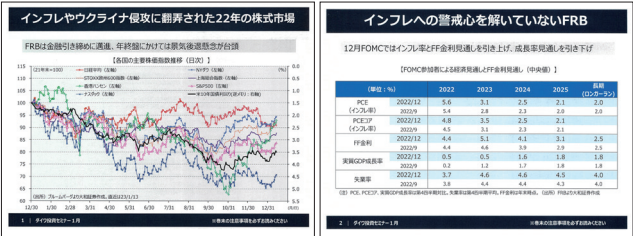
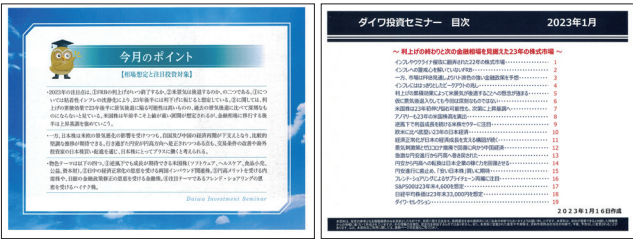
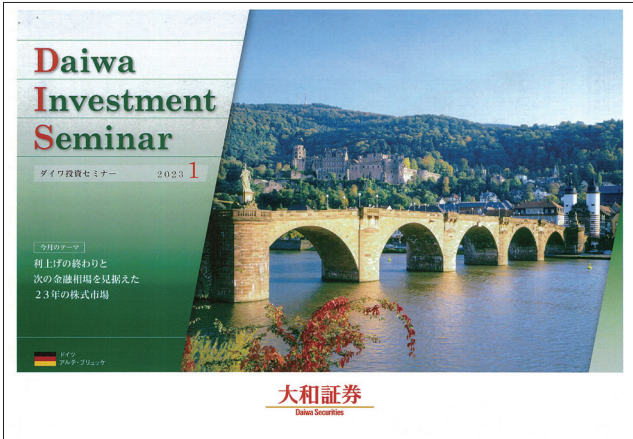
幹事報告

1. 「環境」がロータリーの重点分野に加わったことを受け国際ロータリー理事会は2022年10月の会合で4月を「環境月間」とすることに同意しました。※今年の4月からです。これにより今まで4月だった「母子の健康月

間」は7月に変わります。

- 先週皆様へDEIセミナーのご案内を致しました。参加希望の方は2月8日㈫までに事務局へご連絡をお願い致します。
- 下期会費請求書を送付させて頂きました。ご確認をお願い致します。

1／19 卓話報告



1／26日 卓話者紹介

秋山 伸一氏 卓話概要・プロフィール

(講演概要)

演題：写真でたどる豊島区の90年

1932（昭和7）年10月1日、北豊島郡の巢鴨町、西巢鴨町、高田町、長崎町の4町が合併して豊島区が誕生しました。

昨年2022年は、豊島区誕生から90年が経過したということで、全庁的に区制施行90周年イベントが実施されました。

今回の講演では、豊島区はどのような事情で区制がしかれ、その後どのような変遷をたどってきたのかについて、地図や古い写真を用いながらなるべくわかりやすく解説していきます。

戦前期（焼失前）の池袋駅西口駅前通り、昭和20年代の大塚駅前の街頭テレビ、昭和45年の池袋駅東口の歩行者天国、昭和57年の豊島公会堂付近、といった懐かしい写真も登場します。

30分間という限られた時間になりますが、お集りの皆さんと豊島区がたどってきた昭和の時代へタイムトリップしてみたいと思います。

(経歴)

神奈川県出身

立教大学大学院文学研究科史学専攻（博士課程前期）修了

平成4年豊島区入庁

現在、豊島区立郷土資料館学芸員

(著作・論文)

共著〈分担執筆〉『日本農書全集55 園芸2』（農山漁村文化協会、1999年）

共著〈分担執筆〉『みる・よむ・あるく 東京の歴史7』（吉川弘文館、2019年）

〈研究論文〉「ソメイヨシノをめぐる言説とその実像」荒野泰典編著『近世日本の国際関係と言説』（溪水社、2017年）

〈研究論文〉『武江染井翻紅軒霧島之図』の成立年代について『豊島区立郷土資料館研究紀要 生活と文化』第23号（豊島区、2014年）

〈研究論文〉「江戸北郊における植木屋の庭空間」菊池勇夫編著『地方史・民衆史の継承』（芙蓉書房出版、2013年）